

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援教室アクア			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 18日		～	2026年 3月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4家庭	(回答者数)	1家庭
○従業者評価実施期間	2026年 3月 12日		～	2026年 3月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 28日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育を通じて児童の得意なことや、長所を伸ばしていきたいながら、苦手なことに対しても、一人一人のペースに合わせたステップで取り組み、楽しみながら取り組めるよう、支援の内容を工夫しています。	学習支援等を行う際に、児の興味のある話題に置き換えた説明や課題で、苦手なことでも少しずつ興味を持って取り組めるように配慮しています。また、ルールやマナーを含めたコミュニケーションを学ぶ教材として、アナログゲームを取り入れた療育を行っています。	保護者様や、関係機関の方から日常の様子についての情報を共有していただいたり、事業所側から共有することで、一人一人が前向きに取り組んでいける療育を日々考案しています。
2	学校や保育の現場を経験しているスタッフや、心理士も所属しているため、様々な角度で意見を交わした上で、支援プログラムを作成しております。	個別の支援を実施し、集団での活動も取り入れながら支援を実施しております。また、学習に関する支援だけでなく、心理的ケアを行ったり、社会性を育てていくための活動も積極的に行っています。	自事業所で行っていた過去の研修内容の振り返りをいつでもできるように、情報共有をおこないつつ、指導員のスキルアップに向けた研修を定期的に行っています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	主に屋内で短時間集中型の個別療育を提供しており、他者とのかわりに関して児の心理的配慮も含め、なかなか地域とのかわりを持った活動に参加することが難しい。	児童の心理的配慮が必要なケースも多く、また、短時間集中型のため、地域とのかわりを持つようなまとまった時間の確保が難しい。	児の心理的配慮については継続しつつも、地域の方とかわり方や、短時間でもかわり合える療育内容について検討が必要。
2	父母会や親睦会のような、ご家族や、保護者同士の交流機会の提供があまり行われていない事。	多地域にわたってご利用いただいているため、実施場所等で考慮する部分がありました。	以前、親子リトミック等で家族一緒に参加できるイベント開催も行っていたため、今後も改めてご家族でご参加できるイベントや、保護者同士で交流を行える機会の提供を考えていきます。
3			